



認定NPO法人 保護ねこ施設

キッツ ウェルケア

活動案内 2025

CATS
WELCARE

ねこのしあわせのために
ひとのしあわせのために

キュートな高齢猫 よもぎ

眠いんじやよ〜...

ある日、突然飼い主さんが病気で倒れ、同居していた猫と二匹、取り残されてしまった“よもぎ”。

行き場を失い、CATS WELCAREで保護することに。相方はすぐに“ずっとのおうち”が決まりましたが、よもぎは、今もご縁を待っています。

推定15歳。おばあちゃ…いえ、とってもキュートなマダム猫。風邪をひきやすく、少し腎臓が弱いため、療養食を食べています。

自分からそっと膝に乗ってくる、とびきりの甘えん坊。猫よりも人が大好き。

小柄で、ユニークな柄の美人猫。
よもぎのこれからを、どうぞ応援してください。



2026年6月 おかげさまで、
CATS WELCAREは
認定NPO法人になりました。

ねこのしあわせのために ひとのしあわせのために



事情により飼い主さんと暮らせなくなり、保護されたシエル。
尿路結石の治療などを経て、無事に2026年6月に新しい家族の元へ。



2拠点のシェルターで、常に40頭を超える猫たちが新しい居場所を求めて暮らしています。

私たちの活動

「CATS WELCARE」という名前は、少し覚えにくいかもしれませんが。「WELCARE」は、WELL(良い)、CARE(お世話)、そしてWELFARE(福祉)という言葉から生まれた造語です。

不幸な境遇にある猫たちを大切に care し、幸せつなげていきたい。そんな想いを、この名前に込めています。

私たちは捨て猫や、飼い主の事情により飼育継続が困難になった猫たち、また、不適切な環境で暮らしている飼い猫や野良猫を保護し、心と体のケアを行いながら、新しい家族へとつなぐ活動を行っています。

日々忙しい中でも、一頭一頭と丁寧に向き合い、「WELCARE」を実践することを大切にしています。

ここが、たくさんの猫たちと、たくさんの人たちにとって、新しい幸せと出会える場所となるように。そんな願いを胸に、私たちは今日も活動しています。

代表あいさつ

犬や猫は、今や多くの人の暮らしに欠かせない存在となりました。けれど、その命がどのように生まれ、どのような一生を送っているのか、思いを巡らせる機会は決して多くありません。そのかわいさゆえに、命が金儲けの道具や、一時の慰みとして扱われてしまう現実があります。彼らにも、人と同じように「こころ」があります。繊細で純粋な感情を持ちながら、人の都合によって利用され、捨てられてしまう。

私たちは、そんな現状を変えたいと願っています。今はまだ、目の前の命を救うことで精いっぱいです。それでも、人も動物も幸せに共に暮らせる社会を目指して活動を行っています。

「ひとのしあわせのために。ねこのしあわせのために。」

この理念に共感いただけましたら、ぜひ私たちの活動に力をお貸しいただけましたら幸いです。



保護ねこ施設
認定NPO法人 CATS WELCARE
代表 川越里佳
小児科専門医／医学博士／家庭動物管理士3級

活動の振り返りと、今後の課題

設立から6年。これまでに約500頭の猫を保護し、400頭を超える猫たちを新しい家族のもとへ送り出してきました。

ここまで活動が続けてこられたのは、ご支援くださる皆さま、そして日々現場を支えてくださるボランティアの皆さまのお力添えがあってこそです。

この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

近年、私たちはいくつかの大きな課題に向き合ってきました。

そのひとつが、多頭飼育崩壊現場からのレスキューです。

2024年末には約50頭、そして2026年春には約30頭の猫たちを保護しました。

現在も、後者の現場から保護した猫たちに新しい家族を見つけるため、活動を続けています。

また、2024年末にはクラウドファンディングに挑戦し、そのご支援をもとに2025年4月、阿倍野区に新たな施設をオープンしました。

猫たちがより快適に、のびのびと暮らせる環境を目指して準備を進めていましたが、完成を待たずして50頭の緊急保護が発生。新施設はオープン直後から満員となりました。

その後も保護依頼が途切れることはなく、現在も多くの相談が寄せられています。

そして今、私たちが特に強く感じているのが、高齢猫の保護の増加です。

以前は子猫や若い猫に関する相談が中心でしたが、近年は高齢猫の保護依頼が目立つようになりました。高齢猫は里親が見つかりにくく、医療費や介護の負担も大きくなります。

現在、施設で暮らす猫たちの半数近くが高齢猫です。

これは数年前には想像もしていなかった状況です。

若い猫も、高齢の猫も、すべての命が安心して暮らせる場所をどう作っていくのか。

答えを模索しながら、私たちは今日も一頭一頭の命と向き合い、活動を続けています。



多頭飼育崩壊からレスキューした猫たち



保護した高齢猫が増えているのも、課題のひとつ



なかなか人に心をゆるしてくれない猫も

クラウドファンディングと あべの店「ホーリーハウス」オープン



増え続ける保護依頼。赤字運営が続く中でも、立ち止まることはできませんでした。より多くの命を救うため、私たちは新施設のオープンを決意。2024年末にはクラウドファンディングに挑戦し、多くの方々から温かいご支援と応援のメッセージをいただきました。しかしその最中、FIPと闘病していた「ホーリー」が息を引き取りました。その日、クラウドファンディングは目標金額を達成。私たちはホーリーがこのプロジェクトを後押ししてくれたのだと思いました。

皆さまから託していただいた想いと、彼が残してくれた想いを無駄にしないために。この場所を、一頭でも多くの猫たちが幸せへと歩み出せる拠点として、大切に育てていきます。



私たちに、前へ進むきっかけを与えてくれたホーリー。



古民家を改装して完成したあべの店。活動の陰で失われた命を忘れてはならない—そんな思いから、この施設を「ホーリーハウス」と名付けました。オープン当初は、和食とカフェを提供する「夏目」を併設していましたが、現在は営業を終了しています。住宅街という立地もあり、紆余曲折を重ねながら、今も多くの方に足を運んでいただける場所を目指して試行錯誤を続けています。



90年以上の歴史を刻む古民家を改装した趣のある空間に。

この1年の主な活動

たくさんの自主企画を実施

クラウドファンディングの目標達成、そしてあべの店のオープンを皮切りに、さまざまな挑戦を重ねた1年となりました。猫たちの医療費や飼育費を支えるための活動、私たちの存在や保護猫の現状を知っていただくためのイベント、そして皆さまに楽しみながら参加していただける企画など、試行錯誤を繰り返しながら歩んできました。その過程で、本当にたくさんの方々に支えていただき、活動の輪は少しずつ、しかし確実に広がっていると感じています。

猫ごよみ展



猫作家さんの個展を開催

あべの店1階のスペースを活用し、猫作家さんによるグッズ販売や個展を開催。ちかきみさとさん、MAYA NOGAMIさん、おがわなおさんにご出展いただき、あべの店が個性的で賑やかな会場に変身。夏目でのお食事とあわせて作品鑑賞を楽しんでいただいたほか、ワークショップも実施。現在は夏目の撤退に伴い開催を見合わせていますが、今後の再開を検討しています。



譲渡会



あの手この手で、里親探し

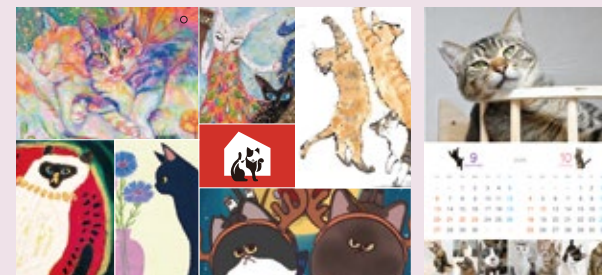
両店舗で毎月、譲渡会を開催。黒猫祭り、サビフェスなど柄に注目した企画のほか、シャイ猫の集いや高齢猫特集など毎回様々な切り口で譲渡会を実施。特に黒猫祭りはSNSで大きな反響を呼び、予約が定員を超えたため急遽2日間開催に変更するほどの盛況となりました。多くの猫たちに新しい家族とご縁が生まれるよう、引き続き注力してまいります。

カレンダーPJ



猫とアートのハーモニー?

関西を中心に活躍する猫作家さん6名の作品を集めた「2026年 猫アートカレンダー」を企画・制作。毎年恒例の「ねこ写真カレンダー」とあわせて、多くの皆様にお手に取っていただくことができました。売上はすべて猫たちの医療費や飼育費として活用させていただいています。



猫猫庵



作家グッズと喫茶の空間

あべの店1階のスペースを活用し、猫作家さんのグッズ販売を行っています。また、セルフカフェスペースを設置し、壁面には猫写真展も展示。猫好きの皆様がゆっくりと過ごせる場所を目指し、現在も試行錯誤を重ねています。

ミーツ ザ ボランティア

猫の手も借りたくて

大阪ボランティア協会主催のイベント。ボランティア活動に興味のある方々との交流が目的ですが、私たちの活動を知っていただく貴重な機会にもなっています。2026年5月の参加では、「ねこのウンチすくい」を実施し、来場者の皆様楽しんでいただきました。



猫と絵本部

猫に、絵本の読み聞かせ?



猫に絵本の読み聞かせを行うユニークな企画。初回はあべの店でお子様連れの皆様を対象に実施しました。子どもたちの優しい声に耳を傾けながら、気持ちよさそうに集まる猫たちの姿が見られました。現在はドーム前店にて、「最強のシャーマン猫」3つまを中心に定期開催しています。今後も名物企画として継続してまいります。



2025年は6回のフリーマーケットに出店。主にオリジナルグッズの販売を行いました。収益面では大きな成果には至りませんでしたが、グッズ購入によるご支援や募金、里親相談などを通じて、多くの皆様と交流することができました。

ジュンク堂 コラボイベント

本で出会う、保護ねこの未来

少しでも、活動を知ってほしい



活動に関するパネル展と猫に関する推薦図書の紹介を行ったジュンク堂難波店との共同企画。多頭飼育崩壊レスキュー直後ということもあり、保護猫を取り巻くさまざまな課題について知っていただく機会となりました。

大丸梅田店 コラボイベント

ねことしあわせDays



おかげさまで、目標達成!

大丸梅田店のイベントへお声がけをいただき、参加しました。紹介動画の視聴数と物販売上に応じて支援金をいただける企画で、目標であった1万ビューをわずか数日で達成。イベント史上最高記録を更新する結果となりました。

街頭募金

常に逼迫している運営資金の調達と認知拡大のため、天王寺駅前街頭募金を実施。初めての試みでしたが、多くの皆様から温かいご支援をいただき、予想以上のご寄付をちょうだいできました。



猫たちのご飯代を、自分たちで

フリーマーケット

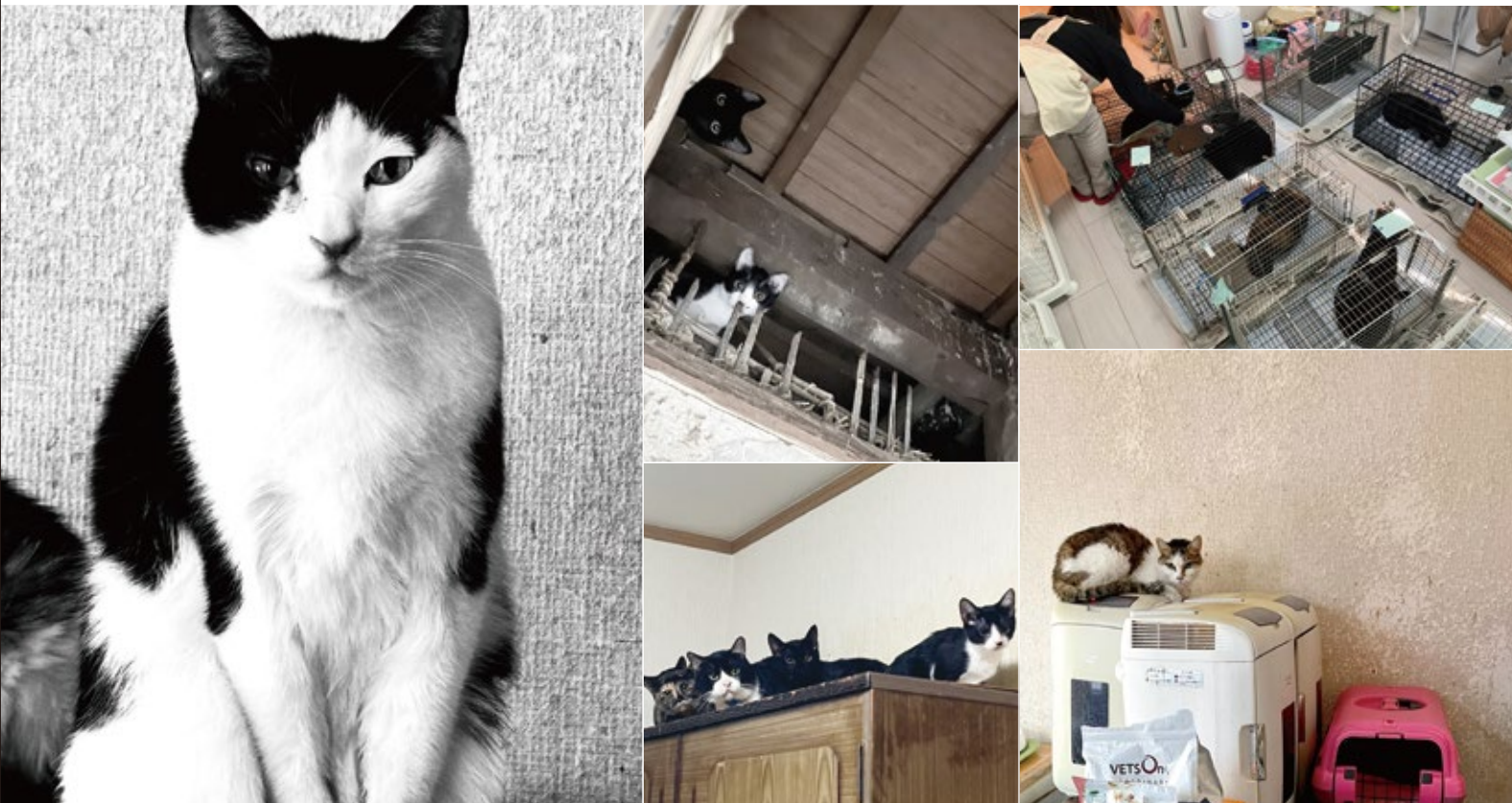


! CAT FLYちゃん
湊町リバープレイス
「みなとまち猫集会」のキャラをデザイン。

命の大切さを知る出来事

2度の、多頭飼育崩壊レスキューを経て。

生命の力と、絆を教えてくれた、「若」のこと。



私たち保護団体には、日々たくさんの相談が寄せられます。中でも、特に大きな決断を迫られるのが「多頭飼育崩壊」の相談です。行き場を失った多くの猫たち。個人では到底対応しきれない頭数。そして何より、ほとんどの場合に時間がありません。

**「保健所に相談するしかない」
「猫たちと一緒に死ぬしかないかもしれない」**

そんな切羽詰まった言葉を聞くたびに、私たちは頭を抱えます。それでも最後には、「何とかしましょう」と飛び込んでしまうのです。だって、不幸な運命を待つたくさんの猫たちを見捨てることができるでしょうか。そして意外に思われるかもしれませんが、助けを求めてくる方の多くは、猫を愛している人たちなのです。冬の寒さに震える数匹の野良猫を家に迎えたところ、3年後には50匹近くに増えてしまった。長年、一日も欠かさず地域猫のお世話を続ける中で行き場のない猫を保護していたが、自身が事故に遭い、お世話を続けられなくなった。さらに住居の立ち退きも重なってしまった。この2年で私たちがレスキューした多頭飼育崩壊には、このような事例がありました。もちろん、「もっと早く不妊手術をしていれば」「もしもの時に備えていれば」と思うこともあります。飼い主に責任がないとは言いません。それでも、人はそんなに完璧な存在でしょうか。

少なくとも、この人たちは猫を置き去りにして逃げることはしませんでした。一人で抱え込み、苦しみながらも、最後には助けを求めてくれました。だから私たちは、猫だけでなく人にも手を差し伸べたいと思っています。近年は、さまざまな事情から飼育継続が困難になったという相談が増えています。病気、介護、失業、住環境の変化一誰にでも起こり得る出来事です。ペットの飼育は飼い主の責任であることに変わりはありません。しかし、その責任を一人だけで抱え込まなければならぬ社会でよいのだろうか、と私たちは考えています。困った時に気軽に相談できる窓口があること。行政や保護団体が連携し、さまざまな支援を提供できる仕組みがあること。そんな環境が整えば、防げる悲劇はきっと増えるはずです。猫も人も孤立しない社会を目指して。それが、多頭飼育崩壊の現場と向き合い続ける私たちの願いです。



猫たちは、暮らす環境を選べません



現場には、子猫もたくさんいます

2025年秋から半年間、CATS WELCAREのスタッフやボランティア、そして多くの方々の心をつかんだ猫がいました。キジトラの男の子、「若」です。

12歳のおじいちゃん猫でしたが、みんなからは親しみを込めて「若さま」と呼ばれていました。

若は、高齢の飼い主さんが病気で入院したことをきっかけに保護されました。飼い主さんは友人の方に若を託していましたが、そのまま帰らぬ人となり、私たちが引き取ることになったのです。

保護してから1か月ほど経った頃、若に異変が現れました。

段差を上げられなくなる。くるくると同じ場所を回り続ける。壁にぶつかると、そのまま立ち尽くしてしまう。

病院で検査を受けましたが、はっきりとした原因は分かりませんでした。ただ、脳の病気である可能性が高いとのことでした。若の病状は少しずつ進行していきました。

目が見えなくなり、ときには痙攣を起こし、倒れると自力で起き上がれなくなりました。

投薬や食事介助が必要になり、夜間も目を離せません。スタッフやボランティアが交代で見守り、24時間体制の介護が始まりました。中にはフルタイムで仕事を終えた後に若の介護に駆けつけ、翌朝また仕事へ向かう人もいました。苦しい闘病生活の中でも、若は生きることを諦めませんでした。

ふらつきながらも歩こうとし、ごはんの時間になると勢いよくフードを食べる。そんな若の姿に、私たちは何度も励まされました。若の様子に一喜一憂しながら、みんなが若を見守りました。そして不思議なことに、どんなに苦しい時でも、抱っこをすると安心したように穏やかな表情を見せてくれました。

長い介護の日々。

私たちは一日も欠かすことなく支え合い、若を見守り続けました。小さなひとつの命のために、多くの人の心がひとつになったのです。2026年4月25日未明。若はスタッフの腕の中で、静かに息を引き取りました。若は私たちに、命を慈しむことの大切さを身をもって教えてくれました。

そして、たくさんの人の心をつなぎ、ひとつにしてくれました。

若。あなたがCATS WELCAREに残してくれたものを、私たちはこれからも大切にしていきます。ずっと大好きだよ。



たくさんのメンバーからお花をもらい、安らかに眠る若

活動6年目を迎えて

ここまで活動を続けてこられたのは、ご支援くださる皆さま、そして日々応援して下さる多くの方々のお力添えがあってこそです。猫たちを取り巻く環境は年々変化し、私たちの前には新たな課題が次々と現れています。それでも、一頭でも多くの猫たちを幸せにつなげるため、これからも歩みを止めることなく活動を続けてまいります。



ドーム前店では、慣れない手つきで破壊王たちの所業を、日々せっせとフォローしてきました



あべの店は改装前、こんな姿でした。この場所から、たくさんの幸せが生まれますように

おかげさまで、累計譲渡数

422猫!!

よかったにゅーにゅー

現在保護中 73猫!!

※2026年6月1日現在

これからの毎日に、猫というしあわせを

私たちは、シニア世代の方への譲渡を積極的に推奨しています。

ここ数年、高齢猫の保護依頼が増えています。保護活動の認知拡大や行政の方針変更などを背景に、保護施設への飼い猫の引き取り相談は年々増加しています。高齢猫は里親希望者が現れにくく、医療や介護の負担も大きいので、多くの保護施設が対応に苦慮しています。一方で、猫が大好きで一緒に過ごす時間も十分にあるものの、ご自身の年齢を考えて飼育をためらうシニアの方も少なくありません。私たちは、こうしたシニアの方々と高齢猫をつなぐ「シニア譲渡」を推進しています。

高齢猫には安心して暮らせる家庭を。シニアの方には猫と過ごす豊かな時間を。

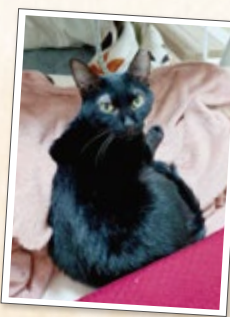
猫も人も幸せになれるご縁を、これからも大切に育んでいきます。



また、猫と暮らせるしあわせな毎日。

里親Aさん(60代)
猫まぼ(推定11歳)

私は年齢的に、もう里親にはなれないと思っていました。でもご縁があり、まぼちゃんが家族になりました。まぼちゃんは、今の私の生きがいです。いつも私のそばにいてくれます。



猫は言葉を交わすことはできませんが、本気で愛せば、ちゃんと愛を返してくれる存在だと感じています。今は、幸せな気持ちしかありません。

里親Bさん(70代)
猫メイコ(推定15歳)

私は70歳で、独り暮らし。いくつもの団地で猫を探していました。が、「高齢者で単身世帯は不可」後見人が必要などの条件が多く、諦めかけていました。



そんな中、キャッツウェルケアさんは、高齢者でも条件が合えば譲渡していただけること知り、メイコちゃんとお会いすることができました。今では可愛い家族が増え、毎日がとても楽しく過ごしています。キャッツウェルケアさんは、誠実に保護猫活動に取り組んでおられ、不安なことや相談にも丁寧に対応してくれ、安心して猫と暮らすことができます。

里親Cさん(70代)
猫エル(推定9歳)

猫は話し相手になってくれるんです。ひとりでも、家族ができたような気持ちになります。



外から帰ってきて玄関を開けると、お腹を見せて待っていてくれるんですよ。待っていてくれる存在がいるって、本当に嬉しい。しんどい時も、そばにいてくれます。

この子が天国に行くまでは、私も元気でいたい。だから、一日でも長く生きようって思っています。この子なしでは生きていきません。大切な存在なんです。

里親様のお声より



猫対談

ドーム前店 シエル × あべの店 ロト

2026.4
オンライン対談
～1年を振り返って

シエル:9歳 オス
飼い主さんが飼育困難になり、ドーム前店へ。
満点の愛嬌で、お店の看板猫に。
口癖は「グルグルふが～」

ロト:2歳 オス
野良から飼育困難を経て、あべの店へ。
保護当初は闘病していたが、今は元気。
すぐにオラつくため、隔離されがちの長毛美男子

あべの店を振り返りつつ、ビッグニュース！

- シ どうも。ロトくん、相変わらずのイケメンですなあ～。その毛量、課金してる？
- ロ いや～、シエル兄さんもお活躍で。いつもSNSで拝見してますよ。コメント欄、だいたい「♥」で埋まってますやん。
- シ いやいや～、営業のたまものですね。さて、あべの店は1周年ですね。振り返って、どうでした？
- ロ オープン当初に居た先輩達は、みんな無事にずっとのおうちが見つかって幸せそうですね。わらび姉さんが唯一のオープンメンバーやけど…最近ええ感じに仕上がってきてますからね～。そろそろ指名入るんちゃいます？
- シ ホストみたいに言うな(笑)。メンバーも一新されたし、床に穴開けて1階と2階が繋がったとか。猫的にはどうなんですか？
- ロ 若い子はテンション上がって行き来してますね。ぼくは…下界に興味ないんで、あんまり行かへんけど。
- シ なるほど、完全に「上から目線」やね。こっちは施設的にはそない変わってないけど…ビッグニュースを発表します！**いよいよ僕にも、トライアルのお声がかりました！**



ザワつきと、涙と、ありがたさと。

- ロ (なんやて!!!) おお～！ついに！それはおめでとうございませう！現場ざわついたんちゃいます？
- シ 泣いたボラさんも居たとか……ほんまにありがたい(涙)。…グルグルふが～!! (※興奮しだした)
- ロ 笑。あべの店はオープンして750名以上の方が来てくれたみたいで、ご支援もたくさんいただいて。ほんまにありがたい。
- シ ぼくら、ほぼ「支援で暮らしてます」からね。ヒトには感謝です。まあ、下僕やけどね(笑)。最近また変なこと始めたよね。

なんか、ぼそぼそ喋るやつ。

- シ ああ、「えほん」ゆうやつね。ビビリ王のさつま君に、ず～と語りかけてるやつ。あれ聞いてると、なんか…こう…気持ちよくなるというか…(寝そう)
- ロ 効果出てますやん(笑)。「ヒトに心を許してもええかな～」ってなるんかもね。ぼくも一回ちゃんと聞いてみたいわ。

原石の仲間たちと、ヒトのがんばりと。

- シ ところで最近、ベテラン新人がたくさん入ってきたとか。
- ロ そうそう。多頭飼育崩壊ってのから一気に30猫。ちょっとビビリ多めやけど、ええやつらですよ。伸びしろしかない。
- シ 原石やね～。ヒトもがんばりますな～。幸せな仲間が、1猫でも増えろとええですな。
- ロ ほんまそれ。まだまだ助けを求めている仲間、ぎょうさんおるって聞かし。
- シ これから子猫シーズンやしね～。…まあ、僕レベルで営業できたなら早いんやけど。
- ロ それ言う？(笑)シエル兄さんの愛想はチートやかな～。あれは神ってる。
- シ 意識したことないけどね～。これからはヒトたちには、しっかり働いてもらわんと。
- ロ まあ、下僕やからね(笑・本日2回目)。はやく、ぼくにも声からんかな～。



いよいよ今年こそ、デビューなるか!?

- シ ロトさんには「出会いの相」出てますよ。しかも長毛補正つき。今年こそ間違いなし！
- ロ だとイッすね～！シエル兄さんもトライアルがんばって！
- シ グルグルふが～!! (※再び興奮しだす)
- ロ ぐるぐるぐる…(つられて終了)

近況報告

2026年6月現在、シエルもロトもずっとのお家が決定!!! そしてわらび姉さんもトライアルに!!! 今もたくさんの猫たちが、チャンスを手にしています。全員、幸せになりますように!!!

特別企画② スタッフ・ボランティアさん・猫さんに聞きました!

猫あるある & 人あるある

普段から思っていた…猫ってこんなところあるよね!?猫からしても、人ってこんなところあるよね!?!の「あるある」を、CATS WELCAREの皆さんから募集しました!





食いしん坊で、
おもしろ可愛い日々!
カブノキさま



毎日元気に
過ごしています!
寅葉ノリさま



気づけはいつも
隣にいます。
まりもノSさま



物を上から落とす
イタズラが好きみたい。
うらん(うら子)ノMさま



家に来てくれたから、
本当に幸せです。
ショウノKさま



いつ見ても可愛くて
美人でツンデレさん。
美夜ノMさま



今ではスリスリゴロゴロの
我が家1の
甘えんぼちゃんです。
モネ(ゆりか)



抱っこが大好きで、
ゴロゴロかきこえると、
とても幸せ
メイコノにん太きりさま



甘えん坊の可愛い姉妹。
家族になって良かった。
マコ・リリコ
ノマリアさま



食欲旺盛、
おもちゃ大好き!
マロン(前男)
ノくさま



かなりのワガママ
甘えん坊になりました!
ふうごノYさま



仲良しで元気に
暮らしています!
てまり(ひめ)
艶子(フジコ)

特別企画③ CATS WELCARE

卒業ねこ写真展

2026年5月「あべの店 1周年記念」で行った募集展示。この1年間で卒業して行った猫ちゃんたちの写真を、里親さまからご提供いただきました。見ているだけで幸せになる光景。ぜひ、ご体験ください!

里親の皆さん、
ご提供ありがとうございました!

※ご提供いただいた順にご紹介いたします。 卒業生代表 ろく太郎



添い寝もする甘えん坊。
最高に可愛いです。
レモンノTさま



一緒にお迎えてきて
よかったねと
家族でよく話しています。
のん(チョコビ)
・ころ(マーチ)ノSさま



姉妹でお迎え。
今はすっかり甘えん坊。
ヘル(たけこ)・チャビ(うちこ)
ノYさま



トイレもお風呂も
ついてくる大の甘えん坊。
さう(サウス)
ノIさま



キャベツ大好き、
お風呂にもトイレにも
ついていく。
こつぶ



仲良く並んでいる姿が
可愛くて癒されています!
ドラミ・あすか
ノMさま



お友達も増えほんのりな
毎日を過ごしています。
ぶっちゃんノKさま



「大好きだよ」と
毎日伝えています。
シーノTKさま



ずっとのお家も
なかなか良いもんですよ!
ぎゅみ・おこめ
ノIさま



人のことが大好きで
毎日一緒に寝ています。
もんじゃ(コリン)
ノIさま



むぎの寝顔を見ては
「幸せだ」と
つぶやいています。
むぎ(かりん)ノOさま



飼主大好きな
甘えん坊さんです!
もなか(みるく)ノYさま



めちやくめ可愛い
甘えん坊も食いしん坊。
ひなた(マヨ)
ノAさま



うちの子になってくれて
ありがとう!
たむ(チル)
ノKさま



夜はいっしょに寝てくれる
ので癒されています。
コマメ
ノ安田家と愉快な仲間達



いっばいいっばい
甘えてくれます!! ("")
マジ太ノSさま



毎日欠かさず
添い寝してくれます。
ケワランノSさま



うちに来てくれてありがとう。
さんちゃん(サンチエ)
ごまちゃん(よんちい)
ノFさま



姐さんにも認められて
のびのび分やっています。
たび(トン)
ノKさま



オコちゃんを中心に楽しく、
面白い生活を送っています。
おこげ(ゆう)

収支報告と総評

2024年度(2024年7月1日～2025年6月30日) 収支報告

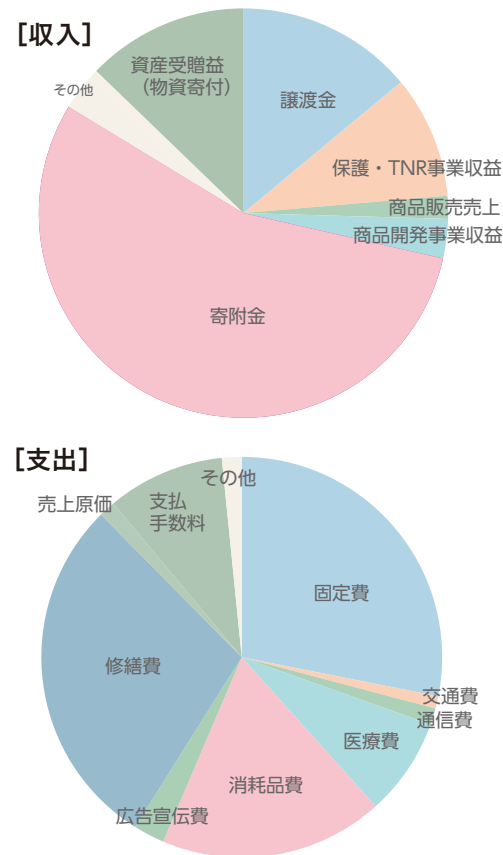
寄附金(クラウドファンディングを含む)および保護・譲渡事業による収益につきましては、多くの皆様から温かいご支援を賜り、当団体の活動を支える大きな力となりました。この場をお借りし、改めまして心より御礼申し上げます。

当年度の譲渡数は、初めて100頭を超える134頭となりました。日々の活動を積み重ねてきたことに加え、皆様からのご支援に支えられながら団体の認知度が向上し、ご来店いただく方や譲渡を希望される方が増加した結果であると感じております。

一方で、保護依頼件数も年々増加しており、より多くの猫たちを受け入れるためには、譲渡数のさらなる向上が必要です。また、昨今の物価上昇や、里親様へのサポート体制維持に伴う人件費の増加を踏まえ、譲渡費用の見直しと価格改定を実施いたしました。

さらに、2025年4月には2店舗目を開設いたしました。両施設が連携しながら、それぞれの特性を活かし、一頭でも多くの猫たちを新しいご家族へつなげられるよう、試行錯誤を重ねております。

今後も保護・譲渡活動の充実に努めるとともに、猫たちとご家族の双方にとってより良い支援を提供できるよう、活動を続けてまいります。



沿革と主な活動

- 2019年

 - 7月:施設改装開始
 - 9月:施設完成
 - 10月:第一種・第二種/動物取扱業登録
 - 11月:事業開始
- 2020年

 - 1月:CATS WELCARE サロン オープン
 - 6月-7月:クラウドファンディング
 - CAMPFIRE FIP治療費/支援者200名
 - 8月-9月:クラウドファンディング
 - CAMPFIRE シェルター運営費/支援者191名
- 2021年

 - 11月:第1回譲渡会(以降毎月開催)
 - 12月:にゃんにゃんCollection&恋するWomen's Collection
- 2022年

 - 1月:クラウドファンディング
 - Syncable マンスリーサポーター募集/支援者80名
 - 11月:里親会
 - 12月:多頭崩壊レスキュー 猫16頭+犬1頭保護
- 2023年

 - 1月・6月:大学生実習受け入れ
 - 2月:大阪ボランティア協会 講演
 - 4月:NPO法人登記
 - 7月:多頭崩壊レスキュー 猫10頭保護
 - 7月:九条フェスタ出店
 - 9月:大阪市西区社会福祉協会 講演
 - 11月:大阪市西区 区民祭り 出店
 - 11月:多頭崩壊支援(30頭) 1頭保護、避妊手術支援
- 2024年

 - 11月:クラウドファンディング
 - レディフォー あべの店開設/支援者606名
- 2025年

 - 1-2月:多頭崩壊レスキュー 猫50頭保護
 - 4月:ホーリーハウス/あべの店、夏目オープン
 - 7月:あべの ねこごよみ展 第1弾 ちかきみさとさん
 - 8月:大丸 梅田店コラボレーション ねこしあわせDays
 - 8月:あべの ねこごよみ展 第2弾 Maya Nogamiさん
 - 8月:譲渡会「黒猫祭り&サビフェス」大盛況
 - 9月:あべの ねこごよみ展 第3弾 おがわなおこさん
 - 10月:あにまるフェス 出店
 - 11月:ねこxねこ作家アート カレンダー発売
 - 12月:猫と暮らす幸せ 写真展開催
 - 12月:あべの店 猫茶庵 オープン
- 2026年

 - 1月:60歳以上の方の譲渡会 開催
 - 1月:あべの店 猫猫庵 オープン
 - 2月:ねこと絵本プロジェクト 始動
 - 2月:猫!ねこ!ネコ祭 開催
 - 2月:多頭崩壊レスキュー 猫30頭保護
 - 3月:天王寺駅前に街頭募金
 - 4月:あべの店1周年記念イベント 開催
 - 4月:第7回推し猫グランプリ ノミネート
 - 4月:ジュンク堂書店難波店コラボレート
 - 本で出会う、保護ねこの未来展 開催
 - 6月:認定NPO法人に認定

ご支援について

私たちの活動は、みなさまのご支援で成り立っています。

猫たちを保護し、できる限り安心・安全な暮らしを提供しながら、しあわせな未来へとつなぐためには、多くの費用が必要です。保護や譲渡の際には、関係者の皆様にも一部ご負担をお願いしておりますが、それだけで運営費の大半を賄うことはできません。

日々の飼育に必要な消耗品費や医療費、施設の維持費、人件費、里親探しのための広報費など、多くの費用を皆様からの温かいご支援に支えていただきながら、活動を続けています。



猫も人間と同じように、病院での治療が必要。
背中は大怪我を負い、手術した「太郎」。

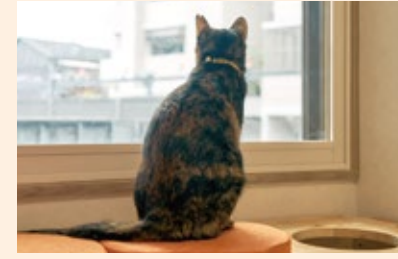
FIP闘病のため、集中治療した「みやこ」。 体調不良で通院を続けた「ロト」。

あなたの支援が、この子たちの明日を作る。

下記は、2025年にかかった主な費用です。近年は高齢猫の保護が増えており、今後は医療費のさらなる増加が見込まれています。

私たちは、たとえ高齢で譲渡の見込みが少なくても、余命が限られていても、その子にとって最善と考える医療やケアをあきらめません。皆様からのご支援は、猫たちに「生きる時間」と「穏やかな毎日」を届けています。

一頭でも多くの猫たちが、しあわせな毎日を過ごせるよう、これからも温かいご支援をお願いいたします。



1年で保護・お世話にかかった費用

合計約 **995万円**

医療費 ……2,802,322円
水道光熱費 ……804,327円
家賃 ……4,122,480円
消耗品費 ……2,226,678円
※2024年度 合計 9,955,807円

保護数

※2024年度

143頭

保護してからかかる1頭あたりの年間費用

約 **7万円**

9,955,807円 / 143頭 = 69,600円

私たちは、認定NPO 法人になりました。

2026年、NPO法人CATS WELCAREは認定NPO法人として認定を受けました。

この認定は、日頃から活動を支えてくださる寄附者の皆様、ボランティアの皆様、里親様をはじめ、多くの方々のご支援があつてこそ実現できたものです。

認定NPO法人となったことで、当団体へのご寄附は税制上の優遇措置の対象となり、より多くの方に活動を支えていただきやすくなります。

これからも、一頭でも多くの猫たちに幸せな未来を届けられるよう、誠実な運営と活動に努めてまいります。

ご寄付の方法はこちらです。
あたたかいご支援を、お待ちしております。

＼ネコ好き、誰でも大歓迎!／
人も、猫も、しあわせになれる場所。

遊んでやる
練習
してねん。



＼癒されながら、猫支援!／ 保護ねこルーム

ご利用料金はすべて、猫たちの保護費に充てられます。
ここに足を運んでいただくこと自体が、猫たちへのあたたかな支援になります。
気軽に“保護ねこ”たちと触れ合い、ゆったりとした時間をお過ごしください。

【あべの店】は、猫を眺めながら
カフェタイム
猫作家グッズ
も楽しめます。

イベントも随時開催!
SNSをチェック!!

ねことしあわせあつめ

あべの
猫猫庵
ねこねこあん



【直接ご来店いただいてもOK】ご予約のお客様を優先させていただきます。

お問い合わせ・ご予約は、お電話かHPよりお問い合わせください。

〈ドーム前店〉

06-6556-7765

京セラドーム近くにある、
2階建の施設。日当たりが
良く、日向ぼっこしている
猫をブラッシングするのが
幸せのひとつ。



HPは
こちら



〈あべの店〉

06-6654-4060

古民家を改装した、趣のある
佇まい。1階は猫を眺め
ながらカフェが楽しめるス
ペースと、猫作家さんの
グッズも販売する猫猫庵。

📞 ワンドリンク付

🚗 駐車場 2台

アクセス

- ①メトロ長堀鶴見緑地線
「ドーム前千代崎」
- ②阪神なんば線「ドーム前」
- ③ JR大阪環状線「大正」
- ④メトロ中央線「九条」

大阪市西区千代崎
2丁目 12-8



📞 カフェコーナー

駐車場はございません

アクセス

- ①各線「天王寺」
- ②JR環状線「寺田町」
- ③近鉄南大阪線「河堀口」
- ④JR阪和線「美章園」
- ⑤メトロ谷町線「文の里」

大阪市阿倍野区
三町1-8-26



認定NPO法人 保護ねこ施設
キャッツ ウェルケア
info@catswelcare.org

第一種・第二種動物取扱業登録 230029ABCE/240169ABCE

活動内容やSNSもぜひご覧ください。



公式HP



公式Instagram



公式X

保護施設・保護ねこカフェ

保護ねこの里親探し

里親サポート

地域ねこ活動(TNR)支援